

## 実績報告記入要領

実績報告の記入について、次の事項に注意して行ってください。

不明な点があれば、福山市経済環境局環境部廃棄物対策課（tel :084-928-1168）に確認してください。

### 1 共通事項

#### (1) 実績報告の対象期間

2017年（平成29年）4月1日から2018年（平成30年）3月31日

#### (2) 実績報告の対象【マニフェスト交付のものに限る。】

報告書は、福山市の許可において福山市の管轄区域内における産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処理実績を報告するもので、次のものはこの報告の対象となりません。

① 福山市の管轄区域外における産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処理実績

（例）福山市域外で排出されたもの及び処分されたものは、報告の対象外

② 一般廃棄物及び特別管理一般廃棄物

③ 建設残土、浚渫土

※収集運搬業においては、広島県の許可を受けている場合は、福山市への報告は不要になります。

#### (3) 報告書の様式

報告対象者ごとに産業廃棄物処理実績報告書へ、注意事項及び記入例を参考にして記入してください。

なお、報告の方法は複数ありますので、最も適した方法により報告してください。

報告方法	注 意 事 項
紙様式による報告 （郵送可）	ホームページより様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ報告窓口に提出してください。 <u>当該報告書の様式については、電算処理を行うため、様式をコピーし、使用してください。</u>
電子ファイル報告 （郵送可）	ホームページから様式をダウンロードし、必要事項を入力してください。 作成した電子ファイルをCD等に保存し、報告窓口に提出してください この場合にも、鑑として報告書（紙）に記入押印の上、欄外には「データは別添えCD（またはFD）のとおり」等と記入し、提出してください。

#### (4) その他

実績がない場合でも、余白部分に「実績なし」と記入して必ず報告してください。

### 2 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 処理実績報告書【収集運搬業】記入の注意事項

産業廃棄物等の処理状況については、産業廃棄物等の種類、事業場（排出事業者等）及び運搬先ごとに記入する必要があるため、組み合わせが異なる場合には、それぞれ別の行に処理状況を記入してください。

#### (1) 報告者（住所、氏名）、担当者（所属、氏名、電話番号）

報告者（市の許可を受けた法人又は個人事業者）の住所、名称、代表者等の氏名を記入し、押印して

ください。

また、担当者の所属、氏名、電話番号を記入してください。

## (2) 許可番号

収集運搬業の許可証の右上に記載された許可番号（10桁又は11桁の番号）下6桁を記入してください。

## (3) (特別管理) 産業廃棄物等の種類及び産業廃棄物コード

別紙コード番号一覧表「1 産業廃棄物コード」により（特別管理）産業廃棄物の種類の区分に従い、種類及びコードを記入してください。

## (4) 収集運搬量

必ず重量（トン）を用いて記入してください。

産業廃棄物等の量を体積（ $m^3 \cdot l$ ）で管理している場合は、別紙コード表の「1 産業廃棄物コード」の換算係数を用いて必ず重量（トン）に換算し、記入してください。

また、小数点以下がない場合でも、小数点以下は「000」で埋めてください。（例：15 t = 15.000 t）

## (5) 「事業場の名称」「事業場の所在地」及び「事業場の所在地コード」

- ① 収集運搬を委託した事業者（排出事業者、中間処理業者等）について、名称・所在地（都道府県又は政令市）を記入してください。【広島県内に限り、政令市を記入】
- ② 「排出事業所の所在地」は、（特別管理）産業廃棄物を排出した場所（都道府県又は政令市）ごとに記入してください。【広島県内に限り、政令市を記入】
- ③ 「排出事業者所在地コード」は、別紙コード番号一覧表「2 所在地コード」により記入してください。

## (6) 運搬先

- ① 「運搬先の名称」は、運搬先ごとに記入してください。
- ② 「運搬先の所在地」は、（特別管理）産業廃棄物の運搬先（都道府県又は政令市）ごとに記入してください。【広島県内に限り、政令市を記入】
- ③ 「運搬先所在地コード」は、(5)③と同様に記入してください。
- ④ 「運搬先の業種」について、処分業者は 1 を、収集運搬業者は 2 を、選択した場合は、収集運搬業又は処分業の許可証の右上に記載された許可番号（10桁又は11桁の番号）の下6桁を記入してください。

また、その他3を選択した場合は、（ ）内に具体的業種を記入してください。

※例 1 処分業者 → 中間処理場、最終処分場等に運搬した場合。

2 収集運搬業者 → 区間運搬を受託し、他の収集運搬業者の積替え保管施設に運搬した場合等。

3 その他 → 1及び2の何れにも該当しない事業者に運搬した場合等。

## (7) その他

記入例1又は2を参考にしてください。

## 3 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理実績報告書【処分業】記入の注意事項

産業廃棄物等の処理状況については、産業廃棄物等の種類、委託者（排出事業場）、処分方法及び処分後

廃棄物委託先等ごとに記入する必要があるため、組み合わせが異なる場合は、それぞれ別の行に処理状況を記入してください。

**(1) 報告者（住所、氏名）、担当者（所属、氏名、電話番号）**

報告者（市の許可を受けた法人又は個人事業者）の住所、名称、代表者等の氏名を記入し、押印してください。

また、担当者の所属、氏名、電話番号を記入してください。

**(2) 許可番号**

処分業の許可証の右上に記載された許可番号（10桁又は11桁の番号）下6桁を記入してください。

**(3) （特別管理）産業廃棄物の種類及びコード**

別紙コード番号一覧表「1 産業廃棄物コード」により（特別管理）産業廃棄物の種類の区分に従い、種類及びコードを記入してください。

**(4) 受け入れ量**

必ず重量（トン）を用いて記入してください。（単位で小数点以下3桁まで記入する。）

産業廃棄物等の量を体積（ $m^3 \cdot l$ ）で管理している場合は、別紙コード表の「1 産業廃棄物コード」の換算係数を用いて必ず重量（トン）に換算し、記入してください。

また、小数点以下がない場合でも、小数点以下は「000」で埋めてください。（例：15 t = 15.000 t）

**(5) 「事業場の名称」「事業場の所在地」及び「事業場の所在地コード」**

① 運搬を委託した事業者（排出事業者、中間処理業者等）について、名称、所在地（都道府県又は政令市）を記入してください。【広島県内に限り、政令市を記入】

② 「排出事業所の所在地」は、（特別管理）産業廃棄物を排出した場所（都道府県又は政令市）ごとに記入する。【広島県内に限り、政令市を記入】

③ 「排出事業者所在地コード」は、別紙コード番号一覧表「2 所在地コード」により記入してください。

**(6) 「処分方法」及び「処分方法コード」**

① 「処分方法」は、処分方法ごとに記入してください。

「処分方法コード」は、別紙コード番号一覧表「3 処分方法コード」により記入してください。

**(7) 処分後量（中間処理、再生の場合は、必ず記入）**

中間処理及び再生を行った場合は処分後に発生する残さ等の量を記入してください

例) 焼却を行った場合 → 発生する燃え殻の量を記入

堆肥化を行った場合 → 発酵後の堆肥の量を記入

**(8) 「処分後廃棄物委託先」委託先事業所所在地」及び「委託先事業所所在地コード」**

中間処理を行った場合は処分後に発生する残さ等の処分委託先について、再生を行った場合は、売却先等について、名称・所在地を記入してください。

再生を行った場合において、再生品（RC等）の売却先等が複数ある場合は、販売実績等が最も大きい売却先等の一つを取りまとめて報告書を作成しても差し支えありません。

**(9) 「委託内容」及び「委託内容コード」**

別紙コード表の「3 処分方法コード」を参考にし、中間処理後の産業廃棄物（残さ等）の処分方法及び該当するコードを記入してください。

また自ら中間処理を行わず、他の処分業者に処分の再委託をした場合は、再委託後の処分方法及び該当するコードを記入してください。

#### (10) その他

記入例 3 又は 4 を参考にしてください。

また、許可対象施設の場合は、併せて産業廃棄物処理実績報告書【処理施設】の提出が必要です。

### 4 産業廃棄物処理実績報告書【処理施設】記入の注意事項

#### (1) 報告者（住所、氏名）、担当者（所属、氏名、電話番号）

報告者（市の許可を受けた法人又は個人事業者）の住所、名称、代表者等の氏名を記入し、押印してください。

また、担当者の所属、氏名、電話番号を記入してください。

#### (2) 事業場の所在地

産業廃棄物処理施設を設置する事業場の所在地を記入してください。

#### (3) 産業廃棄物処理施設の種類の等

産業廃棄物処理施設の種類の、処理した産業廃棄物の種類と年間処理量及び処理後の産業廃棄物の処分方法別に、それぞれ一行ずつ記入してください。

#### (4) 処理した産業廃棄物の種類（及びコード）と年間処理量

種類及びコードについては、別紙コード番号一覧表「1 産業廃棄物コード」を参考にし、当該施設で処分した量を重量（トン）を用いて、小数点以下 3 桁まで記入してください。

産業廃棄物等の量を体積（m<sup>3</sup>）で管理している場合は、コード表の換算係数を用いて必ず重量（トン）に換算し記入してください。

また、小数点以下がない場合でも、小数点以下「000」で埋めてください。（例：15 t = 15.000 t）

#### (5) 処理後の産業廃棄物の処分量

「産業廃棄物処理施設の種類の」が中間処理施設である場合であって、当該中間処理により（特別管理）産業廃棄物が発生した場合に記入してください。

また、中間処理により売却・再利用等が可能なものとなった場合は、その旨を記入してください。

① 「種類の」及び「排出量」は、(4)と同様に、中間処理により発生した（特別管理）産業廃棄物の種類及び排出量を記入してください。

② 「処理方法」は、自社処理又は委託処理の別及び処理方法を記入してください。

③ 「処分量」は、「処分量」＝「排出量」となるように記入してください。

#### (6) その他

記入例 5 を参考にしてください。

また、併せて（特別管理）産業廃棄物処理実績報告書【処分業】の提出が必要です。